

⑬ 身近の自然を楽しむ 初秋の花の豊かな多様性に着目

Enjoy the surrounding nature: Rich diversity of early autumn flowers

2022/9/14

吉野輝雄

\*プリント配布版の⑫は誤りです、⑬と訂正して下さい。

今年の中秋の名月は9/11でした。快晴の東空にまん丸の月が輝いて現れ、少なくとも南天に移動した夜半まで続いていた。ススキの穂はまだ見つからなかったため昨年写真の添えた。月の左上方に木星が点のように見えたが、実際には8つの惑星の中で、太陽になり損ねた星と言われている。

われらの地球はどうか？200万年前に原始人類が現れ、今や70億人を超える人類だけでなく多種多様な動植物が地球表面と海と川の流域に広がり、水と大気が循環する環境の中で生命活動を営み、人は生活を営む社会を形成している。地球は奇跡の星か？その星は人の命が大切にされる平和な世界か？（今はこれ以上の展開を控える）。

猛暑が続いた夏が過ぎ、9月に入ると異常気象で、大型の台風が暴風雨を伴いながら沖縄付近で進路を変え、本州の各地に水害を与えている。今また14号が続いている。そんな中でも季節の変化に応えるように多様な草花が咲き、自然の豊かさを演出している。

今号は、花の多様性が主題なので、個々の解説は控え、短い解説を付記する。

**朝顔**は初夏の花と思われているが、実は初秋になっても多様な花を咲かせる。**朝顔はヒルガオ科サツマイモ属の植物**で、10月半ばまで咲くことはあまり知られていない。なお、小昼顔も存在するが、右下の写真は**豆朝顔**が正しい。

**コスモス**は秋を代表する花だ。今年の芦花公園で、白帯が放射状に広がる赤花（左上）が見られ注目された。黄花、橙色のコスモスは最早めずらしくなくなった。

赤、ピンク、黄色の**オシロイバナ**が一般的だが、**真白な花**が美しい。種の中にできる白い粉（胚乳）は、子どもの遊びの材料になる事があるが、**おしろいに使われたことはない**（ネット情報）。実際には、軽粉、タルクや炭酸マグネシウムなどが使われている。

**ケイトウ（鶏頭）**は、その名の通り鶏の鶏冠（トサカ）を連想させる派手な花だ。火炎にも例えられる。